

# 北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第 3319 回例会・2020 年 12 月 23 日

本日のプログラム

「年次総会」

2020～2021年度国際ロータリーテーマ

『ロータリーは機会の扉を開く』

R. I. 会長 ホルガー・クナー

## 第 3318 回例会（12 月 16 日）の記録

**司会** 松島親睦活動委員長

**ロータリーソング** それでこそロータリー

**会長挨拶** 岡村会長

今日は挨拶をさせて頂く前に、米山功労賞第 4 回マルチプルという事で、丹尾会員に表彰状来ております。

今日は出席者が少なくなっております。今週初めにコロナが発生してしょうがないのかなとは思ったのですが、それでも何とか30名ちょっとのメンバーに来て頂いております。楽しんで例会を進めていきたいと思っております。

先週の例会が急遽私の卓話という事で、ちょっと稚拙な卓話で申し訳なかったのですが、この 1 週間間に何名かの方が星座のアプリを使って頂けたみたいで、また今イチ使い方が分からないという話も聞いておりますので、そういう時は是非言って頂ければ私が人間アプリとなって説明させて頂きますので宜しくお願い致します。

さて、段々寒くなって参りまして、今朝は-16.1℃。道内では富良野の方でも-20℃を超えているという所もあり、もうかなり寒くなって参りました。最近温暖化と言われておりますが、どの位暖かくなっているのだろうかという事で、多分昔から北見に住まれている方々からしたら、昔は寒かったよね…という方が多いのではないかと思います。そこで、どの位温暖化が進んでいるのかなと思って少し調べてみました。気象庁のHPを見た事のある方はいらっしゃるでしょうか。あそこは今日の天気状況とかも出ているのですが、過去の資料を全部検索する事が出来ます。調べてみた所、過去45年間の最低気温というのが1978年2月17日で-30.9℃だそうなんです。この年の2月は特に寒さが厳しかったようで、その内の14日間は全部-20℃を下回っていて、かつ-29.9℃とか-29.7℃という日が5日間だったという、とても寒い年だったようです。他にも平均の最低気温を見て行くと、78年の2月、そして77年の2月、77年1月、85年1月という順で続いています。やっぱり軒並み70年代から80年代は寒いというデータが出ています。ただ、12月に限って見ると、一番寒かった12月というのが85年。その次に寒かったのが4年前の2017年12月です。言われてみれば、あの年の12月は寒かったなあと記憶があると思います。こうやって見ると、確かに寒さは年々緩んで来ているような気がしますが、この統計を注意して見なくては行けないのが、実は計測地点が変わっているんです。その関係があるので、データの連続性としての点が一つ。そして、本当に温暖化のかなという点で見ると、夏の最高気温を見てみるとよく分かります。実際に一番高かったのは昨年なんです。昨年の5月に39℃を記録していますが、これが夏の気温というよりも春先のフェーン現象なので、多分これはカウントしないで、7月、8月の気温だけ見ていくと、70年代から2000年代にかけて殆ど一定しているんです。実は、段々気温が上がっているというよりも、ほぼばらついているというか、暖かい年、寒い年、涼しい年というのがそれぞれ来ているような状況です。という事は、これ実は温暖化ではなくて、どちらかと言うと都市化というのが正解なのかなと思います。そのような事で、温暖化と随分騒がれておりますけれども、北見についてはそんなにしてないのかなというのが実情ではないかという風に思います。どちらにしても寒くなってきたのは確かですので、くれぐれも健康に気を付けて頂いて、元気に例会を楽しんでいきたいと思っております。

**幹事報告** 小池幹事

1. R I よりガバナーノ ミニーテジグネートについてのご案内が来ております。国際ロータリー第2500地区2023-2024年度ガバナー候補者として、紋別港 R C ・鶴見誠一郎君を指名するという事です。鶴見誠一郎君 1974年6月27日生まれ。ハッピーサービス株式会社 代表取締役。異議申し立てのある方は R I 細則に則りまして、12月23日迄に申し立て下さい。
2. 米山功労クラブという事で北見 R C が表彰されており、こちらのご案内が来ております。
3. 今北見 R C の方で、通常例会以外に夜間例会でも出欠を取らせて頂いているのですが、通常例会の方も黒部さんとの兼ね合いもありますので、一ヵ月まとめた出欠を取ろうと思っております。必ずしもその通りという訳ではなく、ご予定だけでも良いので、一ヵ月分を毎月取っていかうかと思っておりますので、ご協力の程お願い致します。



## プログラム 「新入会員卓話」

北見商工会議所 専務理事 渡邊 伸一 会員



私は昭和31年生まれでございます。育ちも北見。父が役所に勤めていたという事もあり、転勤がございました。だからと言って北見の事を聞かれてもあまり答える事が出来なかったというのが実情であります。スキーやスケートというのが北見の人は出来るのが当たり前だという感覚を皆さんお持ちなのですが、そういったものは得手ではありません。大学を卒業し、北見に帰って来て、商工会議所に勤めたという事があって、北見の事やオホーツクの事を知る機会を得たのかなという風に思っております。そういう意味では小中高と12年間、北見やオホーツクの事を学ぶ機会というのは本当に無かったのかなというのが正直な所でございます。私達の頃は受験の為に詰め込みの教育でありましたし、日本史一つとりましても、昭和史等は先生から話を聞いた事ありませんでした。受験には必要がないという事だったのかなと思います。北海道の歴史に触れられなかったというのは、当時受験にそういったものが全く必要なかったという事だったのだらうと思っております。これからは非常に故郷を思うという事を考えれば、小学生の頃からこの地の事を知っていく機会というのをどんどん作っていかねばならないのかなあという風に思っております。そういった意味では、教育委員会の皆さんとも話し合う場がある時には、お話しさせては頂いております。

商工会議所に入所した当時を思い起こしますと、自分にとって大きかったのはやはり、ぼんち祭りだと今でも思っています。私は青年会議所が仕切ってお祭り広場の担当をさせて頂きましたので、あの頃は本当に春先からお祭りの会議というものが立て続けに多く、特に青年会議所の関係するものが多かったんです。青年会議所のメンバーの方々を始め、役所の方、お祭りに関する団体の代表者の方々、お祭りという方はそういった方々と一緒に周囲を巻き込んでぼんち祭りというものが出来上がっておりますので、沢山の皆様とお会いする機会というのを与えて頂きました。このぼんち祭り、特に青年会議所の方々と面識が出来た、懇意にして頂いたという事は、本当に自分もありがたかったですし、今でも大きな財産となっていると思います。今このロータリーの方々にも理事長経験者はいらっしゃいますが、その中で私も入社当時の理事長さん方の印象というのは非常に強くありまして、当時の永田理事長、ぼんち祭りの真っ只中に大きな声を張り上げて怒っているのです。「俺はもうやめた！」なんていうような事を言い張っているのですけれども、やっぱり皆さん真っ直ぐなのだなあ、お互い真っ直ぐだからぶつかってしまうのだらうなあと思っておりますし、真剣なんです。本気のあつていう風に本当に思いました。そして松田理事長の、我々は「おはる鰻差し入れ感激事件」と言っているのですけれども、松田理事長が事務所に慰問に来て頂きまして「ご苦労！」という感じで言われまして、残っていた職員全員におはるの鰻を注文して頂き、差し入れをして頂いたのです。本当にあの鰻の味というのは一生忘れられないですね。鰻は浜松に行ったり、伊豆行ったりとかで食べる機会があったのですが、松田理事長から頂いたあの鰻には敵わないです。本当に美味しかったです。また、あの当時は理事長ではなかったのですが、坂井理事長の「お祭りプロジェクト」という、J C 中でお祭りを担当するプロジェクトがありまして、坂井理事長は毎日会社の事務所に来られたのです。毎日足を運んで頂いた事、何かあったという訳ではないのでしょけれども、これは坂井理事長の性格なのだらうなと思います。毎日顔を出して、私より他の職員が心配するのです。何かあったのかと。お前何かやったんじゃないかって、よく言われました。決してそういう事は無かったです。これは坂井理事長の信条だと私は思っております。それが今年蘇ってしまいました。小公園のイルミネーション。これは坂井社長の一声で出来上がったものなのですけれども。11月19日に点灯したのですけれども、この前後一ヵ月毎日会社に来られました。とことこつと私の方に向かって来るのが分かりますし、こういう姿を見た時私は本当に昔の事を思い出しまして、坂井社長は変わっていないのだなあと思えました。そういう姿を見させて頂くと、やっぱり我々もやるしかない、頑張るしかないのだという風に思えます。改めて御礼申し上げたいと思います。このように忘れられない事って、本当に山のようにあるのですけれども、本当にお祭りは楽しかったです。いつしかこんなお祭りになったらいいなという事を思い出始めたものであります。それはお祭りが終わった翌日に街中が空っぽになってしまうという事で、役所ですとか、銀行、商店街、そういったみんなもう一日お休みにする、町の中には人っ子一人いない、いるのは猫位、そんな感じのイメージを持ちました。そんな街になる位にお祭りで燃え尽きたいという気持ちが自分でもあったという風に思います。そこを上司にも見てもらっていたのか、1年中北見のお祭りに携わっていたという年もありました。夏のぼんち、秋の菊まつり、菊まつりに出店するとりまとめですとか、物産協会の物販の事務局というような事をしました。妻からは文字通り呆れ気味に「お祭り男」だという風に言われまして、お祭りに子供を連れて行くのはいつも私一人だと非難轟々でした。きっと今でも理解はしてもらっていないと思います。言い方失礼ですけれども、うちの家内は青年会議所という名前を聞くと、本当に何て言うのでしょうか、アレルギーを持っているというか。そういうような事で、困ってはいませんが、それはそれでいいかと思っております。



**出席報告** 田巻出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
本日	12/16	61	7	32	1	0	-	-	58.18%

【次回1月6日】 会員卓話 「年男年女大いに語る」

**編集後記** 密かに期待していた忘年会も完全に吹っ飛びました。残念至極ですが、せめて気持ちは前向きに！(K.A)

2020～2021年度 北見R.C.活動方針

## ロータリーの上質を目指しましょう

2020～2021年度 北見RC

●会長/岡村 金司

●幹事/小池 康幸

●週報編集/川上 明人

「アール・アイのテーマとは」

R I 会長が就任にあたって掲げるその年度の重点目標あるいは指針をいいます。ロータリー年度を通じて奉仕の実践に最も重要なものです。